



保育園だより 8月号

仙台袋原あおぞら保育園 令和5年7月31日

雨の日が多い7月でしたが、梅雨の晴れ間には水遊びを楽しみました。子ども達はとても楽しみにしているようで晴れた日には「今日水遊びする？」が朝の合言葉のようになってきます。今月も夏ならではの経験を楽しめる日がたくさんあると良いですね。まだまだ暑い日が続きます。熱中症や感染症には十分に注意しながら、元気に乗り切っていくしましょう。

今月の予定

- 2日(水) 夏祭りごっこ
- 3日(木) 避難訓練(火災)
- 7日(月) 誕生会、お茶会

☆リズム集会
8日(火)、22日(火)、29日(火)

☆みかん組
カラダづくり教室…25日(金)
☆の活動では、動きやすいスポン、長い髪のはけで登園してください。

食育活動の様子
めろん組・すいか組
めろん組&すいか組が大切に育てたスイカが大きくなり、収穫の日を迎えました。子ども達の嬉しそうな表情、そして包丁で切る前の「赤くなっていますように」と祈るような姿がとても印象的でした。力を合わせて育てたスイカの味は格別だったそうです。この夏のステキな思い出になりましたね。

写真掲載

子どもたちの様子

写真掲載

いちご組

朝の集まりで名前を呼ばれるとびきりの笑顔で「はい！」と手をあげたり保育士に「タッチ」をしてお返事をする子ども達。お友だちが返事をした後にはパチパチと拍手をしてくれる姿もとてもかわいいです。

さくらんぼ組

テラスで水遊びを楽しんでいます。タライの水をすくったり、体にかけて大喜び。初めは水を怖がっていた子も少しずつ慣れ、ダイナミックに遊ぶ姿が見られるようになってきましたよ。

みかん組

カラダづくりに参加しました。講師の西間木先生(まぎ先生)に全身を使った様々な運動を教えていただき、たくさん汗をかきながら体を動かした子ども達。先生が持っているマットに体当たりして押し合いっこする運動を楽しんでいました!

ほなな組

階段の上り下りが上手になったばなな組さん。ホールで大型積み木を使って遊びました。みんなで力を合わせて電車を作りお出かけごっこがとても盛り上がりしていましたよ。

熱中症に気をつけましょう

気温や湿度が高くなり、体調がすぐれないときには熱中症を起こしやすくなります。症状は気持ちが悪く、腹痛や頭痛、めまい、吐き気、筋肉のけいれん等が見られます。屋外だけでなく、室内でも発症することが多くあります。子どもは的確に自分の症状を伝えられないので、高温・多湿的环境下、変わった様子が見られるときには熱中症を疑ってみましょう。症状がある際は涼しい場所へ移動し、身体をアイスノンやタオルで冷やす、イオン飲料で水分補給をする等の処置をします。

保育園では各保育室に温度・湿度計を設置し、エアコンを利用しながら室内環境を調節しています。また、お茶のポットを常備し、こまめに水分補給の時間を設けたり、戸外遊びは日差しの強い時間を避けて涼しくなった時間に行なう等を行っています。

体力が落ちているときにもかかりやすくなるので、ご家庭でもしっかりと栄養や睡眠をとる等予防に努めて、元気に夏を乗り切りましょう。



お知らせとおねがい

☆8月は保護者の方の夏休み・お盆休みに伴い保育園を欠席するお子さんが多くなります。給食の食材発注の為おおまかな人数を把握したいと思いますので、あらかじめお休みする日が分かっている方は送迎表に斜線を引いてください。なお、14日(月)、15日(火)、16日(水)については送迎表に斜線を引いた方は、欠席の電話連絡はしていただくなくても結構です。☆8月14日(月)~9月8日(金)まで、より実習生が入ります。よろしくお願いします。

不審者訓練について

7月に不審者侵入対応訓練を行いました。保育園門や窓等からの侵入を想定し「子どもたちの安全を守る」「不審者を園内に侵入させない」というねらいで実施しました。

侵入させないために、使用していない部屋はできるだけ窓を施錠する対応を行っておりますので、朝夕に使用していない部屋が暑く感じることもあるかと思いますがご理解をお願い致します。

災害発生時の対応について

当園は浸水想定区域に所在しています。「警戒レベル3 高齢者等避難」が発令されると、休園やお迎えの要請をさせていただきます。詳しくは、先月配布しました「災害発生時の対応について」をご覧ください。

これから台風や大雨の時期となります。保育園かられんらく等で状況を配信しますので、ご確認をお願い致します。

～夏に流行する感染症と症状～

- ヘルパンギーナ
 - …高熱が続く、喉の奥に口内炎ができる。
- 手足口病
 - …手足の水疱と口内炎、下痢症状や熱が出る場合もある。
- プール熱(咽頭結膜熱)
 - …高熱を伴い、喉と目に炎症を起こす。
- 流行性結膜炎
 - …目やにが出て、結膜が充血する。感染力が強く、乳児が感染すると風邪症状を伴う事が多くみられる。

★予防のポイント★

- 夏の感染症は、感染者の咳やくしゃみを吸ったり、ウイルスや細菌がついたタオルやドアノブに触れたりして感染が広がります。タオルの貸し借りはしない、こまめに手を洗う習慣をつけましょう。(指、爪の間、手首まで)
- 体全体の免疫力を高めるために、休養を充分にとりましょう。日頃から感染症予防に努めると同時に、規則正しい生活や食事を通して十分な栄養摂取を心がけて、感染症に負けない体を作っておくことも大切です。この期間は家族の夏休みに合わせて生活リズムが変わりやすくなるので、意識して早寝早起きの習慣を維持しましょう。

